

## 2024年度 保育園・保育士の自己評価

特定非営利活動法人深川市公私連携保育会

「保育所保育指針」において、保育士及び保育所の自己評価並びにその公表が努力義務とされています。当法人ではこれに基づき検討し、保育の質の向上を図るため、保育園及び保育士の自己評価を実施しました。

評価の結果を踏まえ、今後の保育計画・保育内容等の改善に活かし、改善していくことでより良い保育を提供できるよう努力していきます。

納内保育園の自己評価			
<p>2023年度、保育園及び職員の自己評価について下記の通りご報告いたします。総合評価は最後に記載しています。</p> <p>ねらい：保育所の役割や社会的責任を遂行するために、法令等を遵守し、保育所を取り巻く社会情勢などを踏まえ、その専門性の向上に努め、望ましい保育所運営をするため、今年度の当保育園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画(全体的な計画)に生かすため本表を活用します。</p>			
<p>評価の目安：A・・・出来ている                      B・・・ある程度出来ているが十分ではない                      C・・・あまり出来ていない又は出来ていない</p> <p>回答者：園長 浦田 由佳子</p>			
自己評価の観点・内容		評価	
		A	B
		C	
1 保 育 目 標 に つ い て	(1) 子どもの最善の利益を考慮した「保育理念」が明示されているか。	○	
	(2) 保育理念に基づく基本方針・目標が明示されているか。	○	
	(3) 保育方針・保育目標が活かされるような保育内容を考えているか。		○
	(4) 年齢別目標は、保育目標や乳幼児の実態に即して設定しているか。		○
	(5) 目標は前年度の反省を活かしているか。	○	
	(6) 理念や方針、目標が職員、利用者に周知されているか。		○
○評価の根拠、●改善策			
<p>○保育士全員が目標や実態を同じ思いで共有できていないところがあった。</p>			

自己評価の観点・内容		評価		
		A	B	C
2 保育・行事について	(1) 保育計画(全体的な計画)が保育方針に基づき作成されているか。	○		
	(2) 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき指導計画を改定しているか。	○		
	(3) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。	○		
	(4) 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めているか。	○		
	(5) 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができ、見通しを持ちながら進めているか。		○	
	(6) 子どもが自発的に活動できる環境が整備されているか。		○	
	(7) 様々な表現活動が体験できるように配慮されているか。		○	
	(8) 同年齢及び異年齢児間の効果的活動の充実を図っているか。	○		
	(9) 行事のねらいや実施回数などの内容を検討し、改善に努めているか。	○		
	(10) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	○		
	(11) 評価結果を基に保育の改善に努めているか。PDCA サイクルを取り入れているか。		○	
○評価の根拠、●改善策				
○子どもが自発的にやってみたいと思うような環境を整えていたとは言えなかった。				

自己評価の観点・内容		評価		
		A	B	C
3 健康・安全について	(1) 保育士・調理員が連携し、アレルギー児に対応する環境・体制にあるか。	○		
	(2) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○	
	(3) 危機管理意識を持ち、緊急時の対応できる体制・マニュアルの作成、保健対策を講じているか。	○		
	(4) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。		○	
	(5) 不審者等に対する周到な配慮を行っているか。		○	
	(6) 乳幼児の安全のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	○		
	(7) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○		
	(8) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管されているか。	○		

○評価の根拠、●改善策

○今年度の安全計画に交通安全指導がなかった。

●園外保育の場では交通安全を伝えてはいたが、次年度は年計画に入れる。

4 食育について	(1) 食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせ、食育計画を立て、実践しているか。	○		
	(2) 旬の食材や行事食を取り入れ、様々な食材に触れ、味わえるようにしているか。	○		
	(3) 評価結果を元に食育の改善に努めているか。	○		

○評価の根拠、●改善策

○給食会議の中で 季節の行事や地域の郷土料理を入れて献立を立ててもらっています。

○園の畑でとれた野菜（今年度はサツマイモ）を使い子どもたちと一緒に楽しく収穫・調理・食べる  
ことが出来ました。

自己評価の観点・内容		評価		
		A	B	C
5 つ つ 要保護・要支援児童に	(1) 虐待が疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに園長に届くようになっているか。	○		
	(2) 虐待が疑われる子どもの保護者への対応について、市関係機関、児童相談所等に通告、照合する体制が整っているか。	○		
	(3) 特別な支援を要する子どもに対して、職員全員で情報を共有し、チームで対応しているか。	○		
	(4) 特別な支援を要する子どもに対して、個別の指導計画を作成しているか。	○		
	(5) 特別な支援を要する子どもに対して、家庭や専門機関と連携を図っているか。	○		
○評価の根拠、●改善策				
○園内研修で再度確認したが、保育士みんなが体制などをしっかり覚えていないように感じた。				

6 組 織 ・ 運 営 に つ い て	(1) 能率的・合理的な運営組織になっているか。	○		
	(2) 各種会議や打合せの回数、時間、内容は適切かつ効率的か。		○	
	(3) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○		
	(4) 職員間の連携が取れ、報告・連絡・相談等ができ、共同できる体制になっているか。	○		
	(5) 事業計画の策定、評価、見直しは組織的に行われているか。	○		
	(6) 事業計画は職員、保護者に周知されているか。	○		
	(7) 職員の意見を聞いたり、話し合う場を定期的に持っているか。		○	
	(8) 評価や記録を集積しているか。	○		
	(9) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○	
	(10) 苦情解決の体制づくりは出来ているか。	○		
○評価の根拠、●改善策				
●保育会議や給食会議の時間、保育士全員がそろうことが出来なく書類や口頭で伝えてはいるが不十分な面があり、改善したいと思う。				

自己評価の観点・内容		評価		
		A	B	C
7 研究・研修について	(1) 研究・研修は保育目標の具体化につながるものであるか。		○	
	(2) 研究・研修の計画・運営は適切か。		○	
	(3) 研究・研修の成果を日常保育に活かし、乳幼児の育ちに反映できているか。		○	
	(4) 研修の実践による子どもの理解が深まりを見せているか。		○	
	(5) 各種研究会・研修会・講習会等への参加体制ができているか。	○		
	(6) 各種研修会・講習会等での内容を園内に報告・還元しているか。	○		
○評価の根拠、●改善策				
<p>○職員研修の場を今年度は多く取り入れることが出来た。</p> <p>●研修の情報を職員間で共有するように心がけているが、直接日々の保育に反映できていない面もあるように思うので、その都度振り返り良い保育が出来るように努めていきたい。</p>				

8 情報について	(1) 子どもや保護者に関する個人情報을適正に取り扱っているか。	○		
	(2) 知り得た情報等の守秘義務を果たしているか。	○		
	(3) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○		
	(4) 各帳簿は、適切な方法で作成・処理しているか。	○		
	(5) 園だより、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。		○	
	(6) 掲示板、掲示場所を適切かつ効果的に活用しているか。	○		
○評価の根拠、●改善策				
<p>●年度新たに取り組んだことをもっと発信しなければと思う。</p>				

自己評価の観点・内容		評価		
		A	B	C
9 地域連携・子育て支援について	(1) 地域との関係が適切に保たれているか。		○	
	(2) 保育園が有する機能を地域に還元しているか。		○	
	(3) 地域に住む子ども同士や親子と一緒に遊ぶことが出来るような場の設定を行っているか。	○		
	(4) 子どもの興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	○		
	(5) 育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○	
	(6) 専門機関との連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○	
○評価の根拠、●改善策				
<p>○一時保育の受け入れなどをスムーズにすることができた。</p> <p>○小学校行事に楽しく参加することができた。</p> <p>●情報提供をもっと上手にしていきたいと思う。</p>				

総合評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度のスタートはかなりの少人数でしたが、保護者の協力もあり例年同様の行事が出来て良かった。</li> <li>・クラス編成が以上児・未満児しかなく年齢に適した活動が難しいと思うこともあった。</li> <li>・年間の活動をもっと知ってもらうための情報提供をしていきたいと思う。</li> <li>・異年齢児が活動を共にすることが多い中で、大きい子はもちろん小さい子同士でも手伝ってあげたり、教え合う姿が見られたことは少人数ならではだと感じた。</li> </ul>
------	--